想定した経営類型　　施設野菜専業経営 Ⅵ

1．技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴
	人		a	
施設野菜専業経営 Ⅵ	3.5	いちご夜冷	10	1．品種「ゆめのか」
		いちご株冷	20	2．高設栽培
		いちご普通	20	3．夜冷、株冷処理による早期出荷
		計	50	4．環境制御技術
				5．常時雇用あり（1名）
		経営耕地面積　畑　50 a		

経営目標						
1 農業総収入	43,394	千円	4 1日当たり農業所得	11,992	円
2 農業経営費	33,843	千円	5 1人当たり年間労働時間	1,821	時間
3 農業所得	9,551	千円			

2．資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
					千円	年	千円
建物・施設	ビニールハウス	5	連棟HKハウス 1,000㎡	1	53,759	14	1,920
	高設栽培施設	5	一式 1,000㎡	1	49,845	7	3,560
	夜冷育苗施設	1	一式 1,000㎡対応分	1	2,039	10	102
	高設育苗施設	5	一式 1,000㎡対応分	1	9,092	7	649
	重油タンク	3	1900L/基	1	718	7	51
	防油堤	3	0	1	517	25	21
	電照施設	5	電照施設一式	1	7,178	7	513
	予冷庫	1	3坪	1	1,687	7	121
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 70㎡	1	6,616	24	276
	選果作業室	1	選果室 15㎡	1	1,418	24	59
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,890	24	79
	計				134,758		7,350
農機具	トラック	1	軽トラック	1	1,324	4	166
	動力噴霧機	1	可搬式、防除タンク（500L）	1	184	7	13
	高設用耕耘機	1	1.6PS	1	106	7	8
	加温機	3	150,000kcl／h	1	4,765	7	340
	炭酸ガス発生装置	3	1600～2800㎡用	1	1,573	7	112
	循環扇	5	一式 1,000㎡	1	1,430	7	102
	自動換気装置	5	1000㎡用	1	5,359	7	383
	統合環境制御装置(長崎型)	3	モニタリング装置込み	1	2,006	7	143
	計				16,748		1,267

3．技術体系（いちご　夜冷）

（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(高設育苗) 親株植付け	親株床準備	11月上 ～11月下	高設育苗 施設一式 プランタ	2	12	24		高設育苗 ﾌﾟﾗﾝﾀ使用 2株/1ﾌﾟﾗﾝﾀ 専用親株 500株 250鉢×2株
施肥		11月上		2	2	4	肥効調節型肥料	ﾌﾟﾗﾝﾀ施肥量(親株) 基肥 IB化成5粒／株 追肥 被覆燐硝安加里 (40日)7～8g／株
親株管理	ランナー配置	11月上～ 6月中	かん水施設	2	34	68		ポット配置 14cm×14cm間隔 県病害虫防除基準による
	かん水			1	3	3		
	病害虫防除		動力噴霧器	1	2	2		
鉢上げ	ポット準備 ランナー切断	4月～6月	トラック	2	58	117	10.5cmﾎﾟｯﾄ 10,000鉢	本葉2枚(発根初め)頃に行う 定植苗　7,500鉢 専用親株　1,000鉢 予備苗　1,500鉢
育苗ポット管理	かん水 追肥 摘葉	6月上 ～8月上	かん水施設	2	64	128	置き肥	N成分 100～200mg/ﾎﾟｯﾄ
病害虫防除	耕種的防除	2月下 ～9月上	動力噴霧機	2	27	54		炭そ病、うどんこ病の 防除を行う
夜冷入出庫	花芽分化促進	8月中･下 ～9月上	夜冷施設	2	18	36		入庫前にうどんこ病の 予防を徹底する 夜　温:14～15℃
(高設栽培) 床土消毒	太陽熱消毒 温湯消毒	7月下 ～8月中		2	4	8		最低50℃以上を目安とし 二週間程度ﾎﾟﾘﾏﾙﾁで被覆
施肥	基肥施用	8月下	トラック	2	4	8		高設用耕耘機の活用 全面施用 基肥成分量(ﾏﾙﾁ前施肥込み) N　9～13kg P_2O_5　7.8～11.6kg K_2O　7.4～10.9kg 1月～3月に固形または液肥施用
	追肥施用	10月上 ～4月		2	1	2		
定植準備	かん水資材 設置	8月下 ～9月中	トラック	2	3	6		

（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植		9月上～下	トラック	2	28.5	57		栽植様式(2条、千鳥) 株間20cm 10a当たり 7,000株
マルチ		10月上～中		2	10	20	白黒ポリフィルム	マルチはうね肩まで上げ 天井ビニール被覆後 下げる
保温準備	ビニール張り	10月中～10月下	トラック	4	9	36	ビニール厚さ 0.075mm以上	暖房機の保守点検
管理	誘引	10月中～3月下		2	6	12		下葉かぎは古葉・黄化葉 等を中心に随時行う。
	摘葉、玉だし			2	25	50		玉出しは着色向上のために必ず行う。
	摘果			2	48	96		摘果も品質向上のために行う。
交配	蜜蜂放飼	10月中～	トラック	1	2	2	蜜蜂	6aに一群
環境制御	保温、換気 炭酸ガス施用 光合成促進	11月上～3月中	トラック 加温機 統合型環境制御装置 環境モニタリング 炭酸ガス発生装置 自動換気装置	1	73	73		二重カーテン設置 午後 27～28℃ 夜間 6℃以上 早朝加温（日の出前から日の出にかけて2時間程度。実温8℃程度） 設定地温16℃
	下温処理	3月中・下	動力噴霧機	2	2	4		下温処理 ｸﾙﾌﾉﾝ等のﾋﾞﾆｰﾙ塗布
かん水		9月上～5月下	かん水施設	1	35	35		定植後から十分にかん水を 行い、早期の活着を目指す。 また、栽培中はこまめなかん水を行う。
病害虫防除	薬剤散布 耕種的防除	9月下～5月下	動力噴霧機	2	25	50		県病害虫防除基準による
収穫出荷		11月上～6月上	トラック	3.5	366	1281		取扱は丁寧に行う 4月以降は品質向上のために 早朝どりを行う
後かたづけ		7月上	トラック トラクタ	2	10	20		
計						2196		

３．技術体系（いちご　株冷）p122～123を参照
３．技術体系（いちご　普通）p124～125を参照

3．技術体系

（いちご　株冷）　　（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(高設育苗) 親株植付け	親株床準備	11月上 ～11月下	高設育苗 施設一式 プランタ	2	12	24		高設育苗 ﾌﾟﾗﾝﾀ使用 2株/1ﾌﾟﾗﾝﾀ 専用親株 500株 250鉢×2株
施肥		11月上		2	2	4	肥効調節型肥料	ﾌﾟﾗﾝﾀ施肥量(親株) 基肥　IB化成10粒／株 追肥　IB化成10粒/株
親株管理	ランナー配置	11月上 ～ 6月中	かん水施設	2	34	68		ポット配置 14㎝×14㎝間隔 県病害虫防除基準による
	かん水			1	3	3		
	病害虫防除		動力噴霧機	1	2	2		
鉢上げ	ポット準備 ランナー切断	4月～6月	トラック	2	58	117	10.5cmﾎﾟｯﾄ 10,000鉢	本葉2枚(発根初め)頃に行う 定植苗　7,500鉢 専用親株　1,000鉢 予備苗　1,500鉢
育苗ポット管理	かん水 追肥 摘葉	6月上 ～8月上	かん水施設	2	62	124	置き肥	N成分 100～200mg/ﾎﾟｯﾄ
病害虫防除	耕種的防除	2月下 ～9月上	動力噴霧機	2	27	54		炭そ病、うどんこ病の 防除を行う
株冷入出庫	花芽分化促進	8月中･下 ～9月上･中	株冷施設	2	13	26		入庫前日にかん水を行う。 庫内温度:15℃以下 コンテナはﾘｰｽ
(高設栽培) 床土消毒	太陽熱消毒 温湯消毒	7月下 ～8月中		2	4	8		最低50℃以上を目安とし 二週間程度ﾎﾟﾘﾏﾙﾁで被覆
施肥	基肥施用	8月下	トラック	2	4	8		高設用耕耘機の活用 全面施用 基肥成分量(ﾏﾙﾁ前施肥込み) N　9～13kg P_2O_5　7.8～11.6kg K_2O　7.4～10.9kg
	追肥施用	10月上 ～4月		2	1	2		
定植準備	かん水資材 設置	8月下 ～9月中	トラック	2	3	6		

（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植		9月上～下	トラック	2	28.5	57		栽植様式(2条、千鳥) 株間20cm 10a当たり 7,000株
マルチ		10月上～中		2	10	20	白黒ポリフィルム	マルチはうね肩まで上げ天井ビニール被覆後下げる
保温準備	ビニール張り	10月中～10月下	トラック	4	9	36	ビニール厚さ0.075mm以上	暖房機の保守点検
管理	誘引	10月中～3月下		2	6	12		下葉+I22:I24かぎは古葉・黄化葉 等を中心に随時行う。
	摘葉、玉だし			2	25	50		玉出しは着色向上のために必ず行う。
	摘果			2	48	96		摘果も品質向上のために行う。
交配	蜜蜂放飼	10月中～	トラック	1	2	2	蜜蜂	6aに一群
環境制御	保温、換気 炭酸ガス施用 光合成促進	11月上～3月中	トラック 加温機 統合型環境制御装置 環境モニタリング 炭酸ガス発生装置 自動換気装置	1	73	73		二重カーテン設置 午後 27～28℃ 夜間 6℃以上 早朝加温（日の出前から日の出にかけて2時間程度。実温8℃程度） 設定地温16℃
	下温処理	3月中･下	動力噴霧機	2	2	4		下温処理 ｸﾚﾌﾉﾝ等のﾋﾞﾆｰﾙ塗布
かん水		9月上～5月下	かん水施設	1	35	35		定植後から十分にかん水を行い、早期の活着を目指す。 また、栽培中はこまめなかん水を行う。
病害虫防除	薬剤散布 耕種的防除	9月下～5月下	動力噴霧機	2	25	50		県病害虫防除基準による
収穫出荷		11月上～6月上	トラック	3.5	386	1351		取扱は丁寧に行う 4月以降は品質向上のために 早朝どりを行う
後かたづけ	ほ場環境浄化	7月上	トラック 高設用耕耘機	2	10	20		
計						2252		

3. 技術体系

（いちご　普通）　　（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(高設育苗) 親株植付け	親株床準備	11月上 ～11月下	高設育苗 施設一式 プランタ	2	12	24		高設育苗 ﾌﾟﾗﾝﾀ使用 2株/1ﾌﾟﾗﾝﾀ 専用親株 500株 250鉢×2株
施肥		11月上		2	2	4	肥効調節型肥料	ﾌﾟﾗﾝﾀ施肥量(親株) 基肥　IB化成5粒／株 追肥　被覆燐硝安加里 (40日)7～8g／株
親株管理	ランナー配置	11月上 ～ 6月中	かん水施設	2	35	70		ポット配置 14cm×14cm間隔 県病害虫防除基準による
	かん水			1	3	3		
	病害虫防除		動力噴霧機	1	3	3		
鉢上げ	ポット準備 ランナー切断	4月～6月	トラック	2	58	117	10.5cmﾎﾟｯﾄ 10,000鉢	本葉2枚(発根初め)頃に行う 定植苗　7,500鉢 専用親株　1,000鉢 予備苗　1,500鉢
育苗ポット 管理	かん水 追肥 摘葉	6月上 ～8月上	かん水施設	2	79	158	置き肥	N成分 100～200mg/ﾎﾟｯﾄ
病害虫防除	耕種的防除	2月下 ～9月上	動力噴霧機	2	27	54		炭そ病、うどんこ病の 防除を行う
(高設栽培) 床土消毒	太陽熱消毒 温湯消毒	7月下 ～8月中		2	4	8		最低50℃以上を目安とし 二週間程度ﾎﾟﾘﾏﾙﾁで被覆
施肥	基肥施用	8月下	トラック	2	4	8		高設用耕耘機の活用 全面施用 基肥成分量(ﾏﾙﾁ前施肥込み) N　9～13kg P_2O_5　7.8～11.6kg K_2O　7.4～10.9kg 1月～3月に固形または液肥施用
	追肥施用	10月上 ～4月		1	1	2		
定植準備	かん水資材 設置	8月下 ～9月中	トラック	2	3	6		
定植		9月上 ～下	トラック	2	28.5	57		栽植様式(2条、千鳥) 株間20cm 10a当たり　7,000株
マルチ		10月上 ～中		2	10	20	白黒ポリフィルム	マルチはうね肩まで上げ 天井ビニール被覆後 下げる

（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
保温準備	ビニール張り	10月中～10月下	トラック	4	9	36	ビニール厚さ0.075mm以上	暖房機の保守点検
管理	誘引	10月中～3月下		2	6	12		下葉かぎは古葉・黄化葉等を中心に随時行う。
	摘葉、玉だし			2	25	50		玉出しは着色向上のために必ず行う。
	摘果			2	47.5	95		摘果も品質向上のために行う。
交配	蜜蜂放飼	10月中～	トラック	1	2	2	蜜蜂	6aに一群
環境制御	保温、換気 炭酸ガス施用 光合成促進	11月上～3月中	トラック 加温機 統合型環境制御装置 環境モニタリング 炭酸ガス発生装置 自動換気装置	1	73	73		二重カーテン設置 午後 27～28℃ 夜間 6℃以上 早朝加温（日の出前から日の出にかけて2時間程度。実温8℃程度） 設定地温16℃
	下温処理	3月中･下	動力噴霧機	2	2	4		下温処理 ｸﾚﾌﾉﾝ等のﾋﾞﾆｰﾙ塗布
かん水		9月上～5月下	かん水施設	1	35	35		定植後から十分にかん水を行い、早期の活着を目指す。 また、栽培中はこまめなかん水を行う。
病害虫防除	薬剤散布 耕種的防除	9月下～5月下	動力噴霧機	2	25	50		県病害虫防除基準による
収穫出荷		11月上～6月上	トラック	3.5	347.5	1216		取扱は丁寧に行う 4月以降は品質向上のために 早朝どりを行う
後かたづけ		7月上	トラック 高設用耕耘機	2	10	20		
計						2127		

4．品目の作付体系　　（☆親株定植、▼ﾗﾝﾅｰ切断、△定植、□収穫、∩保温、◎電照）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
いちご(夜冷)					▼				△		☆ ∩◎	
いちご(株冷)					▼				△		☆ ∩◎	
いちご（普通）					▼				△		☆ ∩ ◎	

5．作業別・旬別労働時間（10a当たり時間）

1）夜冷

品目・作業／月・旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
親株植付け																															14	14					28
育苗管理						1	1		1	5	11	11	41	40	35	30	25	20	15	15	15	15	15	15	7												318
夜冷育苗																						4	10	4	16	2											36
定植準備																					6		2	8	6			2									24
定植																									57												57
ﾏﾙﾁ張り他																												10	28	18							56
肥培管理	12	13	12	13	12	13	12	13	14	13	12	13		1		1		1							8	8	4	1	6	11	16	13	12	13	12	13	272
病害虫防除	2	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	4	3	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3	2	3	3	2	104
収穫出荷	62	62	58	56	74	74	84	90	90	90	94	94	39	18	18	6																12	21	72	72	95	1281
後かたづけ																			15	5																	20
計	76	78	73	72	89	90	100	106	108	111	120	121	83	63	56	40	28	24	33	24	24	22	30	29	97	13	7	16	37	31	33	42	35	88	87	110	2196
月計	227			251			314			352			202			92			81			81			117			84			110			285			

2）株冷

品目・作業／月・旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
親株植付け																															14	14					28
育苗管理						1	1		1	5	11	11	42	42	35	25	25	25	15	15	15	15	15	15													314
株冷育苗																								18		8											26
定植準備																					6		2	8	6			2									24
定植																										57											57
ﾏﾙﾁ張り他																												10	28	18							56
肥培管理	12	13	12	13	12	13	12	13	16	13	12	13		1		1		1								8	8	1	6	11	18	13	12	13	12	13	272
病害虫防除	2	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	4	3	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3	2	3	3	2	104
収穫出荷	79	70	80	75	74	74	74	78	86	90	94	94	64	60	51																	8	8	36	60	80	1351
後かたづけ																			15	5																	20
																																					0
計	93	86	95	91	89	90	90	94	106	111	120	121	109	107	89	39	34	29	33	24	24	18	20	43	9	76	11	16	37	31	35	38	22	52	75	95	2252
月計	274			270			290			352			305			102			81			81			96			84			95			222			

3）普通

品目・作業／月・旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
親株植付け																															14	14					28
育苗管理					1		1	1		5	11	11	42	42	35	25	25	25	15	15	15	15	15	15	15	15	7										351
定植準備																					6		2	8	6			2									24
定植																										57											57
ﾏﾙﾁ張り他																												10	28	18							56
肥培管理	12	13	12	13	12	13	12	13	16	13	12	13		1		1		1									8	8	6	11	18	13	12	13	12	13	271
病害虫防除	2	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	4	3	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3	2	3	3	2	104
収穫出荷	68	55	59	60	60	63	96	98	98	90	98	98	40	31	28	6																	8	24	48	88	1216
後かたづけ																			15	5																	20
計	82	71	74	76	76	78	112	115	117	111	124	125	85	78	66	35	28	29	33	24	24	18	20	25	24	75	18	23	37	31	35	30	22	40	63	103	2127
月計	227			230			344			360			229			92			81			63			117			91			87			206			

6．総労働時間（全面積）

	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
総労働時間	426	392	411	406	419	426	504	524	554	555	608	613	471	433	366	188	152	140	165	120	120	94	110	165	163	315	65	94	185	155	173	178	123	272	363	506	10954
うち家族労働	225	191	210	213	226	233	225	245	275	203	256	261	296	258	191	158	122	110	135	90	90	64	80	135	133	285	35	64	155	125	143	148	93	124	215	358	6372
うち常時雇用	59	59	59	64	64	64	71	71	71	69	69	69	71	71	71	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	66	66	66	1741
うち臨時雇用	141	141	141	129	129	129	208	208	208	283	283	283	104	104	104																			82	82	82	2841